

再登場!

～日々是上機嫌～

田辺とも子

“今年の一皿”なるものは“パクチー料理”だとか。パクチー入りのインスタントスープやカップラーメンを数回食したことがある程度の私には、馴染みのうすい食材だ。自分ちの料理には使ったことがない。

毎日のおかずは、パパッとササッと“シンプルイズベスト”を信条に、手馴れたもの、なお且つ自身の口に合うものとなれば、長年親しんだ品になるので、食卓には十年一日のごとく“茶色系”が並ぶことになる。こんな私は、NHK「きょうの料理」が好きだ。講師の個性と一連のプロセスを、一種のショーとして楽しむのが目的なので、メモはとらない。

しかし先日、信条にかなう料理が紹介され、たまにはレシピ本をと、「きょうの料理12月号」を買った。読み進むうち、食欲が沸騰、興奮状態のまま、一気に最後まで読むはめに。高揚の後の脱力感で、晩ごはんは胃にやさしいものがないと、届きたての豆腐で“湯とうふ”に決定。柚子をたっぷり下ろし、色と香りに浸る、私の最高の一品である。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成28年12月7日(水) (AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

今年の世相を漢字1字で表す「今年の漢字」には、「金」が選ばれました。輝かしい「金」ですが、どうして年末には、「金」に羽が生えてしまうのでしょうか? 来年が、酉年(とりどし)だからですね…!

新年を迎えての運営委員会は、第2水曜日1月11日(水)
9:30～男女共同参画センターです。

どなたでもおいでください。



1.

各種審議会等について

11月7日(月)、12月5日(月)、ネットワーク三条代表者会議が、男女共同参画センターで開催されました。議題は、

◆三条市委託事業(男と女のライフスタイルセミナー)について

平成29年3月5日(日)開催のひとひとフォーラムと合体して、ネットワーク三条の5団体が、それぞれやることを提案しました。

・三条おやこ劇場

コマのたけちゃんと遊ぼう!(昔のおもちゃの講演と実施)

・三条食生活改善推進委員協議会&

・新潟県栄養士会三条支部

ひとひとフォーラムの講演会の中で、さつま芋のおやつを提供する。

- ・三条女性会議
市島清貴教授の「コミュニケーション講座
～自分と未来は変えられるんだ！少しの勇気があれば～」
- ・三条市消費者協会
会議欠席のため未定

また、ひとひとフォーラムの講師には、掘込泰三（ほりこみたいぞう）さんが決まりました。掘込さんは、1977年生まれ。東大大学院を経て大手自動車メーカー勤務後、研究者の妻を支えるべく主夫に転身して、翻訳やライターをしながら2児を育てています。育児だけでなく夫婦関係も自然体の掘込さんから、きっと素敵なお話が聞けるとおもいます。

2. 三条女性会議、研修会&新年会のお誘い

新年1月21日(土)に開催する研修会&新年会について話し合いました。

研修の時間は、当初2時間を予定していましたが、1時間30分でも充分だということで、開始の時間を3時30分としました。たっぴり（ちょっぴり？）汗をかいた後、男女共同参画センターの近くにある美味しい和食の店「割烹やま岸」で新年会を行います。さあ、研修会で体を動かし、新年会でお口を動かして元気な1年をスタートしましょう！（^^）/

【研修会】

- ★日 時：2017年1月21日(土)15:30~17:00 研修会
- ★会 場：男女共同参画センター
- ★内 容：やらなきゃ損する“ちょこっと”筋トレ
- ★講 師：三条市福祉保健部健康づくり課 佐々木彰子さん
- ★持ち物：ヨガマットあるいは厚手のバスタオル、飲み物、動きやすい服装
- ★参加費：無料（研修会のみの場合）

※会員でなくても参加できます。どうぞお誘い合わせの上ご参加ください。

【つづいて新年会】

- ★新年会：割烹やま岸(東本成寺14-7 TEL33-8200)
 - ★会 費：お料理3,500円プラス飲み物代
 - ★申込先：お近くの運営委員 または野崎 (TEL080-1042-9788) まで
- ※研修会、新年会、どちらかの参加だけでもOKです～！



【平成28年度男女共同参画推進フォーラム参加報告】

平成28年度男女共同参画推進フォーラム

ワークショップ(2) 8月27日

DVを終わらせる(有効な脱暴力支援と被害者の回復)

主催 メンズカウンセリング協会。

安室久恵

参加者は30名ほど。

まず日本家族再生センター味沢道明さんが活動の概要を話された。そして、前のテーブルにDV加害者3人(男性)と、被害者(女性)2人が着席し、味沢さんの支援を受けてきた自身の経緯、現状をそれぞれが述べる。

これまでDVについては読んだり聞いたりしたが、直接体験者の話を聞くと生々しい。当事者がまずDVであることを認識し、その状況から脱出する、あるいは暴力をやめるという努力をするのはもちろんだが、支える側のシェルターのあり方、警察や保護関係者の意識を変える必要性を感じた。加害者は相手をパワーコントロールしたいという自分のあり方が相手を傷つけていると気づくこと、被害者は自分に力をつけること(エンパワーメント)もポイントだと感じた。離婚という結果にはなっても、子どもがいる場合、親子関係をつなぐことも大切で、特に加害者である父親は子どもに会えないことがつらいと思いをもらす。

DV被害者、加害者の育った家庭に共通する話で、父親が暴力をふるう、あるいは母親から虐待されたなど、自分自身がそれを家庭内の暴力と認識できなかったということがある。そして結婚してからDVの当事者となる。そうした暴力が連鎖していくことに心が痛む。どの家庭にも家族間で追い詰め、追い詰められる暴力があるのではないかと問われる気がした。とすれば私自身も経験はある。だからこそDV被害、加害を認識し、暴力から解放されることの重要性、まさに家族再生のための方法を模索しなければならぬと改めて思った。

味沢さんのもとで加害者から支援をする立場になったという男性もいて、そこに人は変われるということが信じられて、救いを感じた。

編集後記：

一年の終わりをすぐそこに感じて思うことは毎年同じ・・・あっという間の一年でした。今年も同じでむしろ去年よりずっと早いような感があります。365日のうち、300日位のことはずっかり忘れてしまっているからでしょうね。

今年一年鮮度一番をご愛読くださりましてありがとうございました。皆さまどうぞ良いお年をお迎えください。そして、今年最後の鮮度一番212号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>